

森の土づくり 研究室

自然によりそい、品質にこだわる、まじめな土づくり

3つの約束

① 確かな原料で、 こだわりの配合

すべての原料に品質基準を設け、クリアした原料のみを使用。培養土の開発では植物ごとに研究を重ねて、独自のレシピを作り上げます。

② すくすく育つか、 しっかり確認

開発した培養土は研究室と試験用ハウスで発芽と生育をしっかり確認。商品は作るたびに品質をチェックしてから出荷します。

③ 責任をもって、 サンプル保管

培養土は決められた期間、出荷したすべての製品サンプルを研究室で保管。お客さまからのご相談やお問合せに、迅速に対応します。



植え替えのポイント!

●植え替え時期: 5~6月頃。生育が旺盛で根がよく張るので、毎年または2年に1回を目安に植え替えします。

株抜き



鉢の縁を軽くたたくと鉢から出やすくなります。

根ほぐし



根鉢を崩し、古い土を取り除きます。傷んだ根などはハサミで切り取り、白い根は残します。

植えつけ



鉢底ネットを敷き、鉢底石を2~3cmほど入れて植えつけます。根がぐらつかないように、培養土をしっかりと詰めて入れます。※施肥についてはお手持ちの肥料の使用説明に従ってください。

水やり

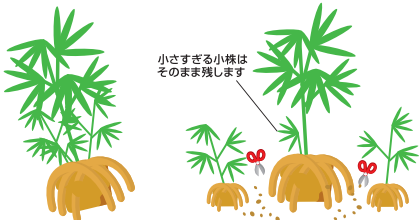


植え替え後は根を乾かさないためにすぐに水やりをします。



栽培のコツ!

株分け



小さすぎる小株はそのまま残します

子株がたくさんできている株は植え替えと同時に株分けができます。鉢から株を抜き、古い土を取り除いたら、葉が7~8枚以上ついている子株を切り分けれます。

置き場所と水やり



●置き場所
日当りの良い窓辺に置きますが直射日光はさけてください。強い光が当たると、葉が傷んでしまいます。
●水やり
培養土の表面が乾いたら与えます。水が切れると葉先が枯れる場合があるので注意しましょう。

葉のメンテナンス



強い乾燥や光に当たると、葉先が枯れ込むことがあります。乾燥している場合は葉水(葉に霧吹きで水を与える)を行いましょう。

商品名	観音竹・棕欏竹の土
主要配合原料	火山性砂礫、パーライト、堆肥、ビートモス など ※品質向上のために変更する場合があります。ご了承ください。
pH	6.5±0.5
肥料配合の有無	無

注意
●乳児・幼児の手に届かない場所に保管してください。誤って口に入れたり、空気を吸ったりかきこったりしないようご注意ください。
●庭先などでの風雨下になるとコブやカビ等が発生することがありますが、品質の影響はありません。多量にお使いください。
●前の袋のラベルやシールのある方は、手袋等をつけて作業を行ってください。



ごみに出すときは自治体の区分にしたがってください。



FOREX
森産業株式会社

フリーダイヤル: 0120-133191
Eメール: forex@forex-mori.com
ホームページ: <http://www.forex-mori.com/tucchi>

万一品質に不具合がありました場合は、上記フリーダイヤル、Eメールまでお問い合わせください。

観音竹・棕欏竹の土 5ℓ

